

居場所
東 部
松崎町

伊豆・松崎・であい村蔵らくら 手づくりと和カフェで”ひとの駅”

「蔵ら」がある松崎町は、県内でも高齢化率が高い町のひとつ。しかし、ここで暮らす高齢者はとても元気です。理由のひとつが「蔵ら」の存在。「町と高齢者を元気にしたい」と代表の青森千枝美さんが築150年の古民家を借り受け、20数名の仲間達と平成22年にオープンランチを提供。さらに平成30年4月からは和のカフェをスタート。青森さんをはじめスタッフの多くが70代の女性。その様子がセカンドライブを紹介するテレビ番組『人生の楽園』等で紹介され、町外からの来訪者で大繁盛に。「嬉しい反面、地域の皆さんとのかかわりが薄くなるのが懸念されました」と青森さん。そこで、平成26年夏に原点回帰。おしゃべりしながら手芸などをして介護予防をしようと「ものづくり」で過ごす日を設けました（「ものづくり楽校」）。「70代はブランチ世代よ」と語る青森さん達の笑顔にパワーをもらいに、たくさんの方が「蔵ら」を訪れます。

ここに注目!!



展示販売する手作り小物はハイクオリティ。現在、町内外の60～90代の70数名が作り手として登録しています。



ランチは「さんま寿司」(600円)と軽食を提供。地元の野菜や海産物を使ったおふくろの味。週末は品切れになることも。



手先を使い、脳を刺激して介護予防を、平成26年夏からはじまった「ものづくり楽校」
●週2回(火曜・金曜)午後開催。
●火曜日…自由に好きなものを作る日
●金曜日…「教室」(申込制)
*視察や見学時のものづくり体験も可能。

DATA
☎(0558) 42-0100
賀茂郡松崎町松崎319-1
F A X / 0558-42-0100
開設時間 / 毎日(木曜日休) 10:00～16:00
ランチタイム(月水土日のみ) 11:30～13:30(売切れ次第終了)
アクセス / JR三島駅より東海バス松崎町行き
駐車場 / 有
運営主体 / 企業組合であい村蔵ら
代表者 / 青森千枝美(代表理事)
*視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆手芸の仲間で活動開始
- ◆ものづくりで介護予防
- ◆築150年の古民家を借り受け
- ◆地産地消、お母さんの味

居場所
東 部
熱海市

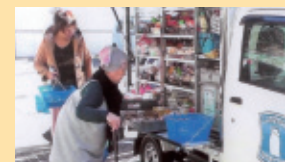
七美クラブ 高齢化が進む団地の集会所を活用 孤立を防ぐ仕組みづくりも

相模湾を眺望する高台に、県営七尾団地が建設されたのは昭和50年前後。当時、入居世帯数340世帯だったのが平成29年には170世帯まで減少。高齢化が進み、平均年齢は70歳以上になりました。そこで、住民同士で互いに見守りができるような「居場所」の必要性を強く感じた町内会長の大友勇さんを中心に、平成25年4月、集会所を使った居場所「七美クラブ」が開設されました。木曜日以外は毎日夕方4時までオープンしています。運営スタッフは特別決めず、都合がつく住民が自発的に活動しています。開設後は、住民の要望がより早く届くようになり、地域の課題も見えてきました。その結果、買い物難民対策として企業に働きかけて移動販売車を導入したり、「孤食」を少しでも解消したいと、新しくなった台所を活用した食事を開催するなど、さまざまな工夫をしています。

ここに注目!!



平成29年春に台所が完成したことからはじめた「食会」。各棟の役員が順番に当番となり、季節ごとに開催。毎回、70名前後の住民と一緒に食事をする。




熱海市中心部まで距離があり、近隣には商店がないため買い物難民対策が課題の七尾団地。平成29年より移動販売車を導入。週5日、コンビニや牛乳販売店等の車が訪れている。



数は少ないが乳幼児や小中学生も暮らす七尾団地。イベント時のみならず普段も顔を出し、利用者同士と交流しているという。

DATA
☎(0557) 80-3607(集会所)
熱海市伊豆山1173-13
七尾団地集会所
F A X / 0557-80-0018(大友)
開設時間 / 木曜日を除く毎日 10:00～16:00(お昼の1時間は休み)
年末年始は休み
アクセス / JR熱海駅より伊豆東海バス「七尾団地」下車すぐ
駐車場 / 有
運営主体 / 七尾団地町内会
代表者 / 大友 勇(町内会長)
*視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆県営団地
- ◆孤独死、孤立死の防止
- ◆高齢化と居住世帯の減少
- ◆住民同士の見守り
- ◆「買い物難民」

居場所
東 部
西伊豆町

駄菓子屋じいばあ お年寄りも子どもたちも、ありのままに過ごす 老いを受け止める心を育む居場所

西伊豆町の民家で小規模サービスを運営している「みんなの家」が、平成27年春から通りに面した縁側スペースを使い開設した「駄菓子屋じいばあ」。毎週土・日の午後になると地域の子ども達や親子連れがやってきます。「このあたりでは祖父母と同居していない世帯も多く、お年寄りと接することなく育つ子どもが増えています。ここでお年寄りのありのままの姿を垣間見てもらい、老いを嫌悪せず受け止める心の下地が自然と育まれればいいなと思います」と代表の奥田さん。人気は10円くじ。三角のくじ作りや商品の袋詰めは、デイ利用者のお仕事に。異年齢の子ども同士の交流の場にもなっています。お年寄りも障害のある人も、多様な人たちがお互いに理解し合い、助け合い、共に生きる社会の実現を目指して生まれた「みんなの家」。「駄菓子屋じいばあ」が次世代への架け橋になっています。

ここに注目!!



「人生紙芝居」を通して戦争体験を子ども達に伝える活動など、地域の幼稚園や保育園、小学校に「みんなの家」の利用者が出て向いての交流も長年にわたって続いています。そんな中からお互いが顔見知りになっていきます。



お正月明けには、近くの認定こども園の園児たちが、お年玉を握りしめてご来店。恒例行事になっています。

DATA
☎(0558) 52-4730
賀茂郡西伊豆町中745-3
F A X / 0558-52-4730
U R L / http://rakutabist.com/
E-mail / min7noie@poem.ocn.ne.jp
開設時間 / 土・日 13:30～16:00
アクセス / JR三島駅から東海バス松崎町行き浜橋バス停より徒歩15分
駐車場 / 有
運営主体 / NPO法人みんなの家
代表者 / 奥田俊夫
*視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆デイサービスの中からの気づき
- ◆縁側の活用と通学路
- ◆子どもと高齢者とのふれあい
- ◆異年齢の子どもとの交流

居場所
東 部
沼津市

寄り合い処 かぬき暖だん 「ありがとう」と「お互いさま」が 行き交う居場所

日頃の買い物に困っていた高齢者を何とか助けたい、という思いがきっかけではじまった寄り合い処かぬき暖だん。地元連合自治会の協力を得て、デイサービス等を手掛けるNPO法人が開設した居場所です。平成23年8月の開設当初から地元農家が持ち込む旬の野菜の直売は地元の人に大人気。ボランティアが高齢者の買い物に付き添い買い物ツアーも始まっています。また、温泉の湯を使った足湯や折り紙教室、手作り教室などのイベントを定期的開催。平成28年から始めたカラオケは男性利用者増につながり、いままだ家に閉じこもりがちだった人も外に出るきっかけになったという声が届きます。「暖だん会議」と称し、地域包括支援センター、沼津市社協、介護専門職や自治会を交えての相談も実施。肩ひじ張らないご近所づきあいが心地よい居場所です。

ここに注目!!



カラオケは無料でもらった中古品ながらも大活躍。男性ボランティア2名がカラオケの担当。




月に2回(但し、お湯があれば足湯の日でなくてもOK)、13:00～。温泉水による足湯。



地産地消にこだわる野菜の直売。どれも100円前後。最近では「終活で家の中を整理して」と未使用の食器や生活雑貨も並ぶ。

DATA
☎090(6368)8711
沼津市下香貫八重145-2
F A X / 055-935-6517
E-mail / magokoro@ab.thn.ne.jp
*FAX、メールはまごころサービス静岡東部センター
開設時間 / 9:00～16:00
休業日 / 土、日、祝祭日、夏休み、年末年始
利用料金 / 半日100円～300円
アクセス / 沼津駅南口から沼津登山東海バス「温水プール」行き「沼工前」下車すぐ
駐車場 / 無
運営主体 / NPO法人まごころサービス静岡東部センター
共 催 / 下香貫連合自治会有志
代表者 / 小林廣子(理事長)
*視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆「買い物難民」対策
- ◆近隣農家の旬の野菜
- ◆連合自治会の協力
- ◆カラオケで男性利用者増